

「財部小学校の俵踊り伝承活動の取組」

1. 学校名	曾於市立財部小学校
2. 学年・人数	5・6年生 94人
3. 日時・場所	(1) 練習の日時・場所 令和6年10月15日(火)～23日(水)(4回), 10月28日(リハーサル)・運動場 (2) 発表の日時・場所 令和6年11月4日(月) 財部小学校運動会・運動場
4. 伝承・活用に 取り組んでいる 郷土芸能, 伝統 行事, 伝統工芸 品について	(1) 名 称 川内の俵踊り (かわちのたわらおどり) (2) 由 来 江戸時代, 農家二才衆の心身強化, 団結, 親和を図るとともに, 豊作を 神に奉納したことから始まった舞で, 都城市周辺で踊られていた。戦後, 隣接する川内集落に伝えられ, 30年ほど前から, 本校でもふるさとの心を 大切にしようと高学年で取り組み, 伝統的に運動会で披露している。 (3) 構成等 直径20cm, 高さ50cmの円柱形の俵を用いて踊る。3部構成となっており, 1部では直線的に並び, 2部では円を描きながら俵を用いて踊る。3 部では, 俵を使用せずハンヤ節を踊る。
5. 文化財伝承・ 活用の取組にお いて地域との連 携や工夫した点 等	令和2年度から, 高学年の2学年で俵踊りに取り組んでいる。4回の練習 では, 保存会会長と昨年度踊った経験のある6年生が5年生に, 足の動きや 俵の動き, タイミングなどを教えていく。運動会前のリハーサルでは, 保存会 の演奏(三味線, 太鼓, 鐘)担当の方にも協力してもらっている。小学校で は俵踊りの曲に合わせるのが難しいため, 「ハンヤ節」に合わせて踊っている。
6. 取組の様子 (練習状況, 発 表の場等)	 運動会で披露  保存会の方々の演奏
7. 感想・意見 (参加児童生 徒・保護者・ 保存会・教員 等)	【児童】 ・6年生として, 今年も伝統を引き継ぐことができたのでうれしく思う。 ・来年は今の5年生がふるさとを大切にすることを引き継いでくれると思う。 【保存会】 ・保存会も高齢化が進み, 活動休止を考えている。学校で児童が踊る姿を見ると, 教えながら元気をもっている。保存会としての活動は終わるが, 今後も学校で伝承活動を続けるのであれば, ぜひ協力をさせてもらいたい。